

驚きの効果！ 建物内部の隅々まで風が吹き渡る！

■ 冷風機のサポーター ウォールEXファン ■



Wall Exhaust Fan / ウォールEXファン

屋根から伝わる熱い空気と建物内部に停滞する暖かい空気は建物上部に滞留します。建物上部に滞留する熱は、外気温度よりも5度～10度以上も高い温度となっている場合があります。

ウォールEXファン HF146SLは、1時間に45,000立米もの暖かい空気を屋外に排気する事が可能です。この大量の排気は、建物に滞留している熱い熱を外部に放出し、建物内部の温度を屋外の温度まで下げます。

空気（風）が建物内部を流れ続けることで、どこにいても常に風が吹いている状態を作り出し、建物内で作業する全ての人に風を当て体感温度を下げる事が可能です。



■ ウォールEXファン・ラインナップ ■

BGLシリーズ

BGL1460 (EA-BGL1460)
0.75kw / 44,500m³/h ブレード / 1250mm
サイズ 1460×1460×580 重量 / 72kg
電圧 / 三相 200V 騒音値 / 65dba

BGL1260 (EA-BGL1260)
0.75kw / 36,000m³/h ブレード / 1050mm
サイズ 1260×1260×560 重量 / 60kg
電圧 / 三相 200V 騒音値 / 65dba

BGL1060 (EA-BGL1060)
0.55kw / 29,000m³/h ブレード / 850mm
サイズ 1060×1060×550 重量 / 50kg
電圧 / 三相 200V 騒音値 / 55dba

BGL850 (EA-BGL850)
0.37kw / 19,000m³/h ブレード / 650mm
サイズ 850×850×480 重量 / 40kg
電圧 / 三相 200V 騒音値 / 53dba

※製品は本体のみとなり、別途制御盤等が必要でとなります。
※製品の取り付けには別途工事が必要となります。
(現場調査及び工事見積承ります。)

EXウォールファン本体



バックパネル



モーター



排気コーン Type A (オプション)



排気コーン Type B (オプション)



■ 冷風機の水とメンテナンスの重要性 ■

■ 水と雑菌とカビ ■

冷風機から冷風を排出するために水は重要な役割を果たしています。その反面、水は雑菌やカビを繁殖させる要素となります。

洗濯物の生乾きの臭いを思い出してください。冷風機でも乾燥が行き届かない場合には、洗濯物の生乾き状態が起こり、嫌な臭いの発生の原因となります。雑菌やカビをそのまま放置した場合、クールパッド内に雑菌やカビの繁殖が広がり、臭いが取れなくなります。

※1日のご使用の終了時には必ずタンクの水を抜き、クールパッドを完全に乾燥させる事が重要です。

※定期的なタンクの清掃は、タンク内を清潔に保ち、ポンプやスプレーバーの詰まりを防止します。



梅雨時の洗濯物の生乾きの臭いは湿った洗濯物に残っていた雑菌が再度繁殖した結果引き起こす臭い。洗濯物も冷風機も乾燥が重要です。

★ おすすめ機能

■ 水質浄化UVライト ■

■ UVライト(紫外線殺菌灯) ■

厚生労働省も認める殺菌方法

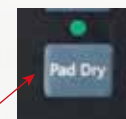
日光が強い殺菌力を持っていることは古くから知られていました。太陽の光に含まれる紫外線が強い殺菌力をもち、ダニや雑菌を除去してくれるからです。薬剤での殺菌とは違い紫外線殺菌は残留物が残らず、環境にやさしいとされています。紫外線は細菌のDNAがもつ情報を分解することで、菌を減らす、または増殖を防ぐとされています。厚生労働省は、卵の表面に付着したサルモネラ菌や、理美容室でのカミソリには紫外線殺菌を義務付けています。このように、紫外線殺菌は国も認めている殺菌方法です。

UV殺菌灯 (殺菌装置)



★ おすすめ機能

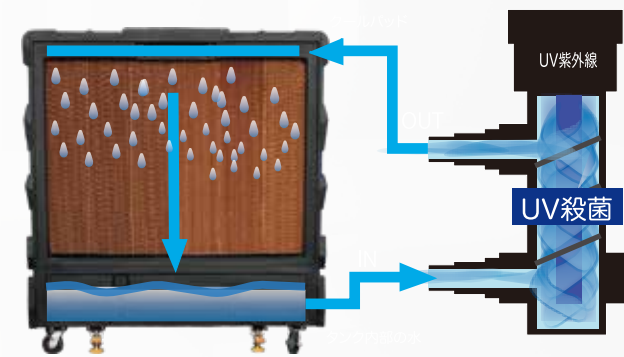
■ オートパッドドライ機能(クールパッド自動乾燥) ■



■ Pad Dryボタン ■

1日のご使用を終了する際には必ずPad Dry ボタンを押して下さい。クールパッドを乾燥させた後に自動的に動作を停止させます。この操作を毎回行うことで、雑菌やカビなどの発生を抑えます。

本体内部を循環する水を全て殺菌！



冷風機には、必ずクールパッド(気化フィルター)が装備されます。そのクールパッドが水に濡れたままの状態では雑菌の温床となるため、必ず乾燥が必要です。一部のアースブロージャパン製品では、オートパッドドライ機能が装備されており、ボタンひとつで簡単にクールパッドを乾燥させ、雑菌の繁殖を抑えることが可能です。(風神・雷神・疾風・嵐に標準装備)

■ クールパッド乾燥の重要性 ■

クールパッドはご使用終了時には毎回乾燥させることが重要です。UVライトで殺菌された水でも、時間の経過と共に雑菌は再繁殖する場合があります。特にUVライトを使用していない機種は、雑菌やカビを殺菌していないために繁殖が進み、最悪の場合クールパッドから悪臭を放つ危険性があります。クールパッドの乾燥は、1日の終了の30分前にポンプを止めファンを回すだけで簡単に乾燥できます。

注意事項

※冷風機のウィークポイント
クールパッドの下部は乾き難く雑菌やカビの発生が起き易い部分です。
クールパッドにカビが発生した場合には、洗浄や乾燥を繰り返します。それでも臭いが取れない場合には交換が必要となります。
カビや雑菌を繁殖させないように必ずクールパッドの乾燥を行ってください。

